

近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所

平成17年度予算、事業の概要

平成17年度予算は、平成17年3月23日成立したところです。
和歌山河川国道事務所の予算、事業については下記のとおりです。

平成17年度 予算の概要

(単位：百万円)

会 計 名	H16年度当初(A)	H17年度当初(B)	前年度比(B/A)
一 般 会 計	39	-	-
治 水 特 別 会 計	3,766.8	5,688.6	1.51
道 路 整 備 特 別 会 計	28,040.0	25,435.0	0.91
事務所(和歌山県内)合計	31,845.8	31,123.6	0.98

【注】 上表のほか調査費（河川事業調査費・河川総合開発事業調査費・道路事業調査費）等の予算がある。

また、上表のほか平成16年度には治水特別会計で132百万円(景観形成事業推進費)、道路整備別会計で1,170百万円(社会資本整備事業調整費)があった。

平成17年度事業の概要

河川事業

紀の川大堰建設事業では、JR阪和線の橋梁架替工事を継続します。
また、河川の掘削工事に着手します。
桜谷川（かつらぎ町）の樋門の改築に着手します。
橋本川（橋本市）の改修のうち、御殿橋^{みとのばし}の架替えに着手します。

1. 紀の川改修 [予算額 872百万円]

- 1) かつらぎ町内の浸水被害軽減を目的に、支川桜谷川樋門の増築に着手します。
- 2) 橋本市内の浸水被害軽減を目的に、橋本川に架かる御殿橋^{みとのばし}の架替えに必要な用地補償と、仮橋工事を行っていきます。
- 3) 東南海・南海地震、及び津波対策のため、事務所の河川情報伝達機能の強化を図ります。

2. 紀の川大堰 [予算額 3,715百万円]

- 1) 紀の川大堰の暫定運用を継続します。
- 2) 大堰の本格運用に必要な以下の関連事業を推進します。
橋脚の基礎が浅いJR阪和線の架替工事として、橋脚下部工を継続実施します。
新たに橋梁上部工（橋桁）の製作に着手します。
洪水を安全に流すために河川の掘削工事に着手します。

3. 環境整備 [予算額 99.0百万円]

- 1) 和歌山市内を流れる和歌川（内川^{うちかわ}）の水質改善対策として、紀の川から浄化水の導入を継続します。
- 2) 有本地区の内水被害を軽減するため、有本揚排水機場計画を推進します。

4. 河川維持修繕 [予算額 920.5百万円]

- 1) 洪水時に紀の川の堤防の安全性を確保するため、堤防除草を実施し、管理・点検に努めます。
- 2) また、刈り取った堤防の草は有効利用を図るため、一定期間をかけて腐葉土化を行い、希望される方々に無料配布します。
- 3) 河川をきれいに保つため、啓発活動や塵埃除去を実施します。
- 4) 洪水時の浸水被害を軽減するため、樋門等の河川管理施設の点検を行い、出水時の操作の安全性を図ります。

5. 河川工作物関連応急対策事業 [予算額 58.7百万円]

- 1) 破損や老朽化した樋門については点検結果に基づき計画的に樋門補修を実施します。

道 路 事 業

京奈和自動車道では、橋本道路は平成17年度の全線開通（暫定2車線）を目指し、工事を鋭意推進します。

紀北東道路は、新たに粉河町域の用地買収に着手します。

紀北西道路は、関係機関協議及び地元設計協議に着手します。

維持管理面では24号の出島高架橋外5橋の耐震補強工事に着手します。
また、24号和歌山市栗栖～鳴神などにおいて低騒音舗装を実施するとともに、26号和歌山市北島地区で、沿道の環境保全を図るため大気常時観測所の観測を開始します。

1. 交通円滑化事業費

1) 高規格幹線道路

[予算額 19,960百万円]

一般国道24号・橋本道路

(17,660百万円)

- ・1工区(県境～橋本IC)では、橋本高架橋交差部上下部工事、橋本IC改良工事等を、2工区(橋本IC～高野口IC)では、名古曾高架橋上下部工事、高野口IC改良工事等を推進し、平成17年度の全線開通(暫定2車線)を目指します。

一般国道24号・紀北東道路

(1,500百万円)

- ・昨年度に引き続きかつらぎ町、那賀町域の用地買収を推進するとともに、新たに粉河町域の用地買収に着手します。

一般国道24号・紀北西道路

(800百万円)

- ・引き続き調査設計を進めるとともに、関係機関協議及び地元設計協議に着手します。

2) 一般国道二次改築

[予算額 985百万円]

一般国道24号・和歌山バイパス

- ・昨年度に引き続き全線4車化に向け、紀州大橋下り車線の上部工事を推進します。

一般国道24号・大和街道環境整備

- ・橋本市中心市街地部の公共施設管理者負担金(土地区画整理事業負担金)による用地取得を推進するとともに、御殿橋架替工事を推進します。

一般国道26号・和歌山北バイパス

- ・昨年度に引き続きJR紀勢本線との立体交差部の事業を推進します。

2. 維持修繕事業

[予算額 1,850百万円]

一般国道24号・26号・42号の管内管理区間(119.0km)の路面状況、道路構造物、法面、植栽等について日々点検パトロールを行うとともに、維持補修等を実施します。

修繕工事は大規模地震に備え橋梁の耐震対策を3ヶ年で完了すべく、24号出島高架橋外2橋、42号新広橋外2橋の橋梁耐震補強工事を重点的に実施します。また、42号で畑地区防災工事等も実施します。

3. 交通安全対策事業

[予算額 1,250百万円]

歩行者、自転車の安全確保として「あんしん歩行エリア」の整備、事故発生集中箇所の対策、「事故危険箇所」の対策及び渋滞対策として、24号和歌山市西汀の歩道整備、26号和歌山市孝子峠の視距改良、24号かつらぎ町妙寺、42号海南市冷水の交差点改良等を推進します。

4. 電線共同溝事業

[予算額 632百万円]

42号海南市船尾～和歌山市毛見(L=1,425m)の電線共同溝の整備を促進します。
24号那賀郡岩出町備前～同町中迫(L=640m)の電線共同溝の整備に着手します。

5. 沿道環境改善事業

[予算額 436百万円]

24号和歌山市栗栖～鳴神、42号有田市古江見～箕島において低騒音舗装を実施します。

26号和歌山市北島地区において、沿道の環境保全を図るため大気常時観測所の観測を開始します。



J R 阪和線の
橋梁架替工事
(平成17年3月撮影)



紀の川大堰事業



改築を行う桜谷川樋門



東南海・南海地震・津波対策の
イメージ

京奈和自動車道(橋本道路)



きたば
北馬場地区



なかしま
中島地区

すだちょうこうぜ
橋本市隅田町河瀬付近より
高野口町を望む

耐震補強工事



でしま
国道24号 出島高架橋